

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ギガ・ベドラム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：トータルベドラム

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

比較対照ボール：ベドラム

フレアーの幅 インチ

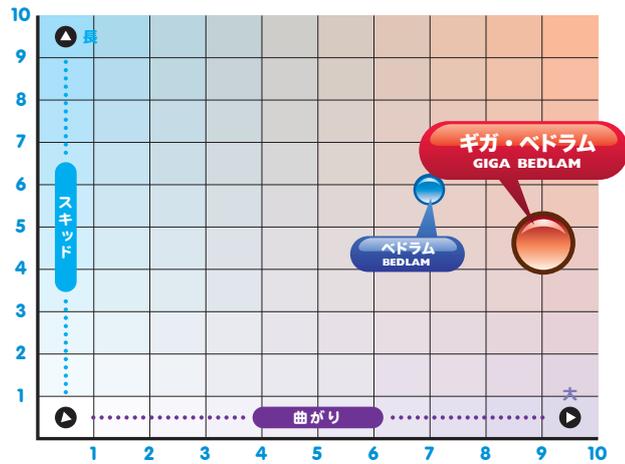
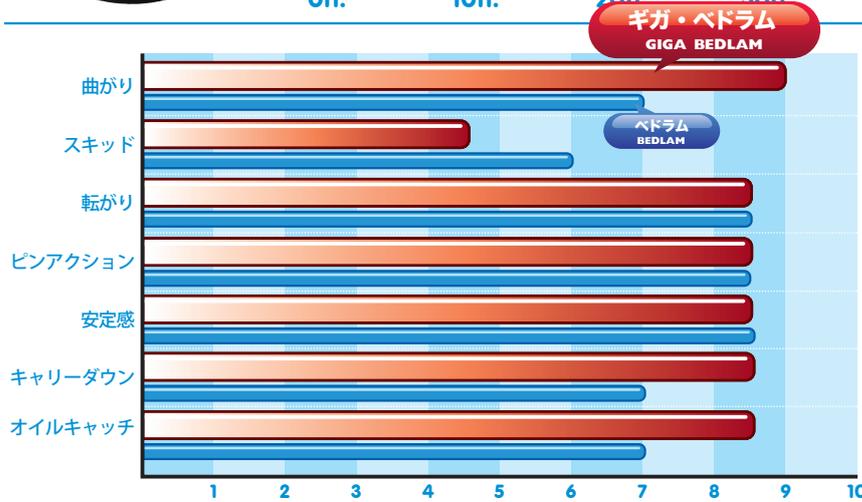
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

爽快なスキッド感とフリップなリアクションのベドラム。オイルキャッチを軸としてオイリーなコンディションでの対応を可能にしたトータルベドラム。今回のギガベドラムは日本限定で発売する国際製品で、カバーストックにおいてはコロビア社でも初めて採用されるFull Tiltの特殊ブレンド。トータルベドラムより手前のキャッチを強めながらも先での動きを十二分に得ることができる、ベドラムシリーズ最大の曲がり幅を開発コンセプトとしてここにリリースされます。

「如何にベドラム特有のリアクションを残しながら、ハイパフォーマンスを実現するか」

そのためにキャッチの強いFull Tiltの特殊ブレンドのカバーストックをスキッドとバックエンドモーションのバランスを保つ為にパールを混入し、キャッチをしながらスキッドを確保できるように設定。Bedlam Coreもそのカバーストックの特性を最大限に生かすためにパフォーマンス重視の数値調整もされています。

私の投げたイメージだとトータルベドラムよりもスキッドは短く、より手前のオイルを必要とする感じが伺えます。

またそのオイルキャッチでありながらバックエンドでしっかりと向きを変えてピンヒットする、類まれなる性能だと思えます。

チューンナップとして箱出し#2000の加工をさらに#1000に落とすことにより、スピードが早いタイプの方や曲がりを得られないタイプのボウラーをカバーする性能だと思えます。

テスト段階で岡部直治プロは「今までのどのボールよりも曲がりを得ることができる」というレポートもあり、私自身オイリーなコンディションでのスペシャルなボールの位置づけであると思えます。

特記事項

トーナメントのオイル量でも負けることのない曲がり。スピードが早めの方や回転数が不足がちの方、またオイルに対しての絶対的な信頼感のある性能をお求めの方には是非使用して頂きたいボールです。